UNI-PEX

制御機能付

CDプレーヤーユニット

取扱説明書(保証書付)

AU-203

このたびは、CDプレーヤーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

ご注意

CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますので、ご使用に際しては充分ご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

CD挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。
	1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶〜❸の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
❶煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。　❷本機に触れるとビリビリと電気を感じる。　❸電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明

スキップ/サーチボタン（アップ）
曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると（2秒以上）曲を早送りします。

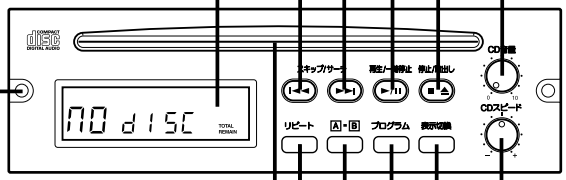
スキップ/サーチボタン（ダウン）
曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると（2秒以上）曲を早戻しします。

ディスプレイ
操作または動作状態を表示します。
P5の説明をご覧ください。

再生/一時停止ボタン
CDの演奏を始めるときに押します。演奏を一時停止（ポーズ）するときはこのボタンを押します。

停止/取出しボタン
演奏を停止するときに押します。CDを取り出すときは停止中にこのボタンを押します。

CD音量調節つまみ
CDの音量を調節するときに使用します。



取付穴
P6の組込方法の説明をご覧ください。

スピード調節つまみ
CDの演奏スピードを調節するときに使用します。

CD挿入口
CDを挿入します。シングルCD(8cm CD)には対応していません。故障の原因になる場合がありますので使用しないでください。

時間表示切換ボタン
演奏時間の表示を切り換えるときに押します。押すたびに「曲の経過時間」→「曲の残り時間」→「総残り時間」と切換わります。

プログラムボタン
プログラム演奏のプログラム内容を設定するときに押します。

リピートボタン
リピート演奏をするときに押します。押すたびに「1曲リピート」→「全曲リピート」→「解除」と切り替わります。

A-Bリピートボタン(A-B)
A-Bリピート演奏の開始点と終了点を設定するときに押します。

(ディスプレイ部の名称と説明)

ディスプレイのバックライトは停止状態、CD未挿入状態が15分継続すると消灯します。

一時停止表示
一時停止状態のときに点灯。

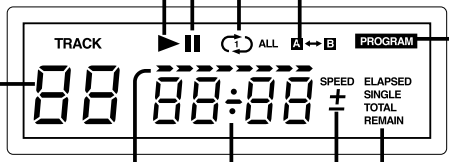
再生表示
演奏状態のときに点灯。

トラック表示
演奏中の曲(トラック)
番号を表示。

演奏時間表示
演奏中の曲、またはCD全曲の経過時間及び残り時間の目安を表示。

演奏時間表示(分:秒)
CDの経過または残り時間を表示。演奏スピード調節時は調節値(±15%)を表示。

演奏スピード調節表示
CDの演奏スピード調節中は「SPEED」と、調節状態「+」「−」を表示。調節値は演奏時間表示に点灯。



リピート表示
リピート演奏のとき点灯。
:1曲のみリピート演奏
ALL:全曲リピート演奏

A-Bリピート表示
A-Bリピート演奏のとき点灯。

プログラム表示
プログラム演奏のときに点灯。

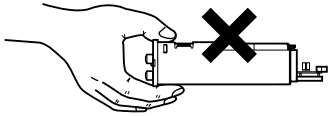
演奏時間モード表示
時間表示切換ボタンを押しますと下表の順に表示が切換わります。

演奏時間モード表示	演奏時間表示の内容
ELAPSED	演奏中の曲の経過時間
SINGLE REMAIN	演奏中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN	CD全曲の残り時間

組込方法

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意 CDプレーヤーユニット上面、及び後部の基板には触れない。故障の原因になることがあります。



CDプレーヤーユニットを持つときは、前面パネル部に触れない。前面パネル部がはずれ、故障の原因になることがあります。

1.本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口ブランクパネルを2本の取付ねじをはずし取り除いてください。

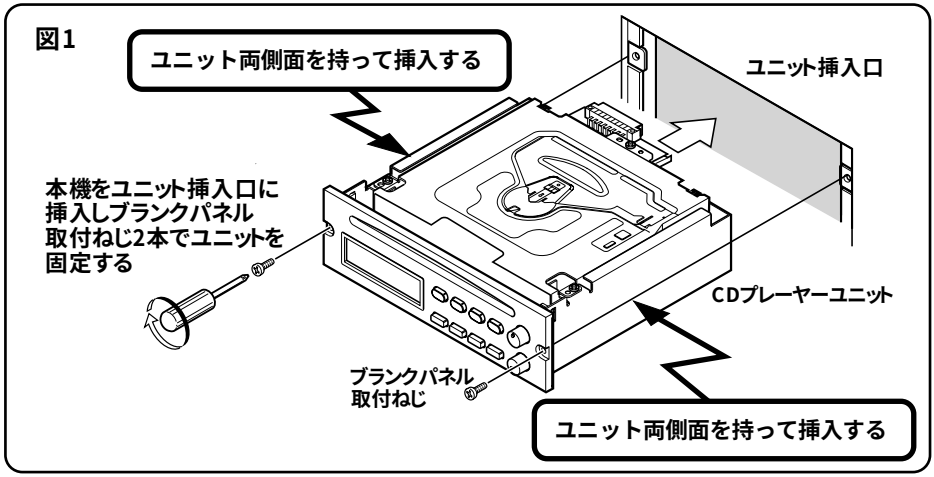
2.本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。

3.本機をブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図1参照)

ご注意 ●本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

図1



自動電源制御機能について

●本機には電源の「入／切」を外部から制御できる自動電源制御機能があります。組込機器にFM/AMラジオチューナーユニット AU-100が一緒に収納されている場合は AU-100の電源が入れば本機の電源は自動的に切れます。本機を使用される場合は AU-100の音量調節つまみ（電源スイッチ兼用）を必ず「切」位置にしてください。

設定の変更のしかた

「被制御」を「通常」または「優先」に変更する場合

●本機は組込機器本体のオートマチックフェーダー回路のはたらきで自動的に音量が減衰する**「被制御」**に設定されています。自動的に音量が減衰しない**「通常」**で使用される場合は本機後部の基板上のジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。または本機の動作により被制御に設定された機器の音量を自動的に減衰させる**「優先」**で使用される場合は**「優先」**側に差し換えてください。(図2参照)

●工場出荷時にジャンパーピンは**「被制御」**に設定しています。

制御機能を使用する場合

詳しくは制御ユニット(別売)の取扱説明書をご覧ください。

①ジャンパーピンを常時通電「OFF」から「ON」側に差し換える

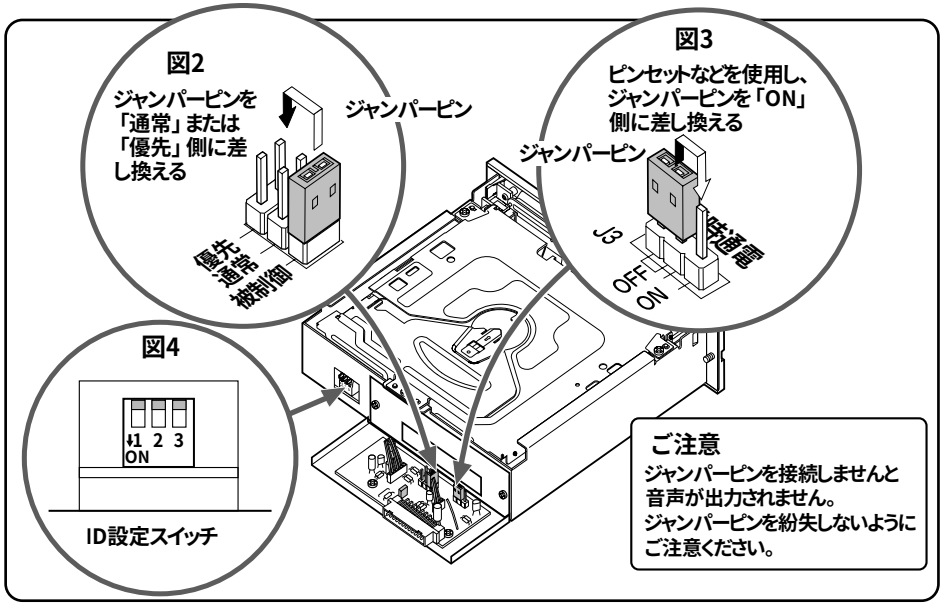
●本機後部の基板上のジャンパーピンを**常時通電「ON」**側に差し換えてください。(図3参照)

●工場出荷時にジャンパーピンは**常時通電「OFF」**に設定しています。

②ID設定スイッチを「手動」から「制御」に設定する

●制御機能を使用される場合はID設定スイッチを**「制御」**に設定してください。(図4、下表参照)

●工場出荷時にID設定スイッチは**「手動」**に設定しています。



設定	手動(工場出荷時)	制御
ID設定スイッチ	1 2 3 ON	1 2 3 ON

ご注意　手動操作のみで使用する場合はID設定スイッチを「手動」でご使用ください。「制御」の設定または他の設定で使用されますと「IIC※ Err」表示になり操作ができません。(取り出し操作のみ可能)

※「IIC」(I^2C)は本機で使用している通信規格の略称です。

操作のしかた

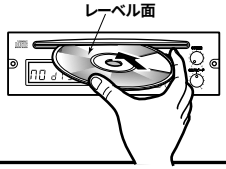
⚠注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

再生のしかた

1.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.CD挿入口にCDを入れる

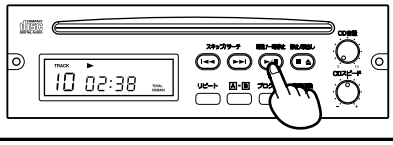


□レーベル面を上にしてCDを入れると、トータルトラック及び全演奏時間を表示し停止状態になります。

◇すでにCDが入っているときは、“ TRACK ”が点灯しています。CDは入れられませんので、無理に入れないでください。
◇シングルCD(8cm CD)は使用できません。
◇CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについては、正常に再生できない場合がありますのでご注意ください。

3.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すたびに、再生／一時停止を繰返します。



4.音量を調節する

□CD音量調節つまみを適当な位置に調節してください。

CDを取り出すには

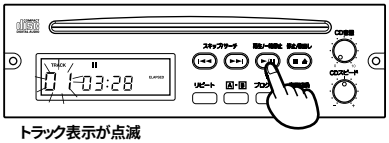
停止/取出しボタンを押す

□停止中に停止/取出しボタンを押しますとCDが出てきます。演奏中の場合は停止/取出しボタンを押して演奏を停止してから、もう一度押してCDを取り出してください。

演奏を一時停止（ポーズ）するには

再生/一時停止ボタンを押す

□演奏中に再生/一時停止ボタンをおしますと演奏が止まります。再度押しますと再生します。



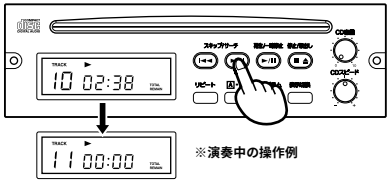
トラック表示が点滅

曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[▶▶I]を押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号に表示が換わります。

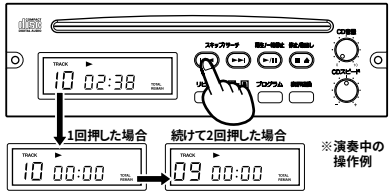


※演奏中の操作例

●前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[I◀◀]を押すと演奏中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号に表示が換わります。



1回押した場合　続けて2回押した場合

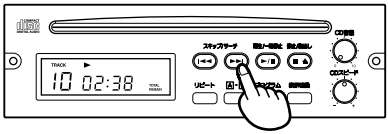
※演奏中の操作例

早送り／早戻しするには

●曲を早送りするには

スキップ/サーチボタンを押し続ける

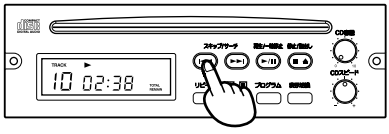
□2秒以上押すと早送りし、離すとその位置から演奏を開始します。



●曲を早戻しするには

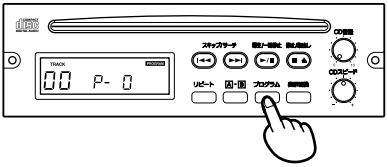
スキップ/サーチボタンを押し続ける

□2秒以上押すと早戻しをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。

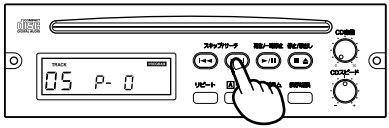


プログラム演奏をするには(演奏する曲と曲順を自由に設定する)

①停止中にプログラムボタンを押す

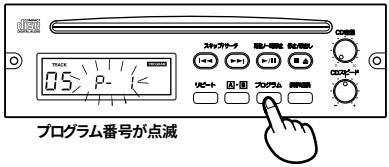


②スキップサーチボタンを押しプログラムしたい曲番を表示させる。



③プログラムボタンを押し曲番を登録する

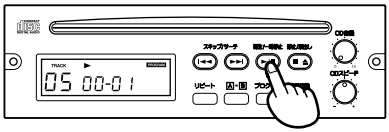
②③を繰り返し最大32曲まで登録できます。



プログラム番号が点滅

④再生/一時停止ボタンを押す

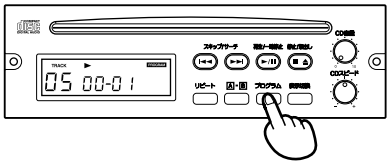
プログラムした曲順で演奏します。



●プログラム内容を確認するには

登録後、プログラムボタンを押す

上記の③で登録後プログラムボタンを押すとプログラム内容を確認することができます。

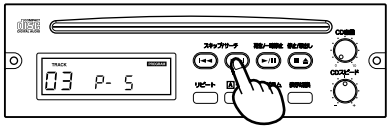


●プログラム内容を変更するには

①登録後、プログラムボタンを押す

左記のプログラム内容を確認する要領で変更したいプログラム番号を選択します。

②スキップサーチボタンを押し変更したい曲番を表示させる。

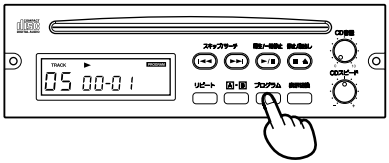


●プログラム内容を解除するには

プログラム演奏中にプログラムボタンを押す

□ディスプレイの“ PROGRAM ”が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

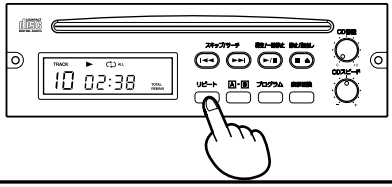
③プログラムボタンを押し曲番を登録する



1曲または全曲を繰返し聴くには(リピート演奏)

リピートボタンを押す

□押すたびに ↻1 → ↻ ALL →無表示の順に変わります。



↻1	**1曲リピート（今演奏している曲を繰り返し演奏します。）**
↻ ALL	**全曲リピート（CD全曲を繰り返し演奏します。）**
	リピート解除（CDの最後の曲まで演奏します。）

◇リピート演奏について

・演奏中の曲または、CD全曲を繰り返し演奏します。

指定した部分を繰返し聴くには(A-Bリピート演奏)

注意）リピート演奏中、またはプログラム演奏中にこの設定はできません。

●A-Bリピート演奏設定例　　A-Bリピート演奏区間

◆4曲目の指定した部分を繰り返し演奏

CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
	A B				

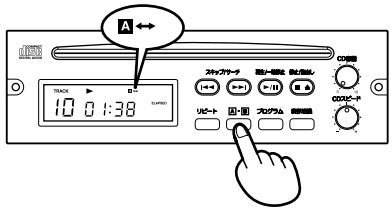
◆6曲目の頭から8曲目の途中までを繰り返し演奏

CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
			A		B

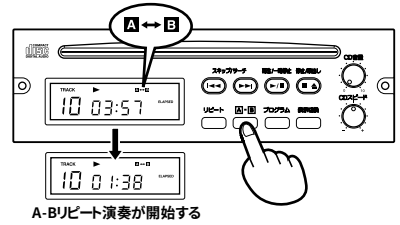
◇A-Bリピート演奏について

・演奏中のCDの指定した部分を繰り返し演奏します。（指定できる部分は連続する1区間のみ）

①A-Bリピートボタンを押す
（開始点の設定）
演奏中、繰り返したい部分の開始点でA-Bリピートボタンを押します。

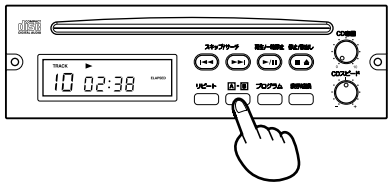


②A-Bリピートボタンをもう一度押す
（終了点の設定）
繰り返したい部分の終わりでA-Bリピートボタンを押します。その後、その区間の繰り返し演奏が開始します。



A-Bリピート演奏が開始する

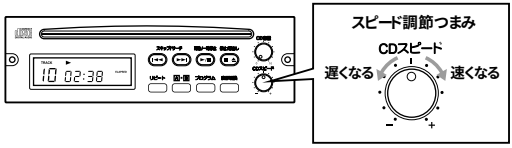
●A-Bリピート演奏を解除するには
A-Bリピート演奏中にA-Bリピートボタンを押す
ディスプレイの“ A-B ”が消えてA-Bリピートは解除され、通常の演奏に戻ります。



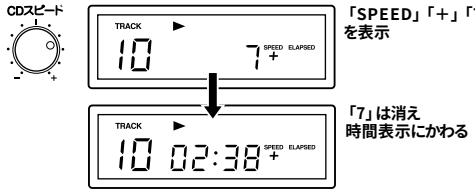
演奏スピードを調節するには(CDスピード調節)

再生中にスピード調節つまみをまわす

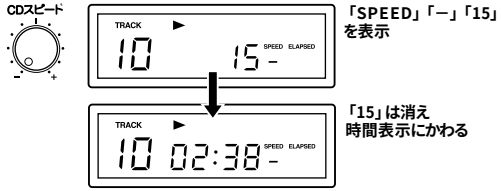
□再生中、スピード調節つまみをまわし、演奏スピードを調節します。



例1）演奏スピードを速く（約7%）調節



例2）演奏スピードを遅く（約15%）調節



◇CDスピード調節について

・CDの演奏スピードを±15%の範囲で調節します。

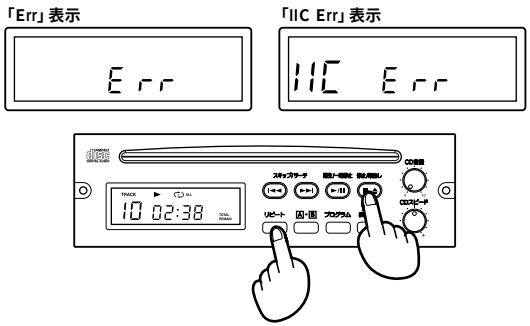
◇メモ

・スピード調節と同時に音程も変化します。

Err(エラー)表示の状態を解除できない場合

停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続ける

□停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続け、
エラー状態を解除してください。



◇エラー表示（Err）について

・CDプレーヤーになんらかの原因により異常が発生した場合、Err(エラー)が表示され操作する事ができなくなります。

◇エラー表示（IIC Err）について

・手動操作のみで使用する場合本機後面のID設定スイッチを「制御」の設定で使用されますと IIC Err(エラー)が表示され操作ができなくなります。（詳しくは7ページのID設定スイッチの説明をご覧ください。）

◇お願い

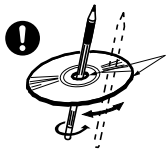
・エラーを解除しても、再びErr(エラー)が表示する場合は電源スイッチを切り、販売店などへご連絡ください。

コンパクトディスク（CD）について

コンパクトディスクの取扱かた

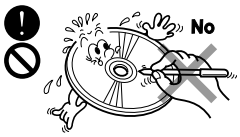
●保護ケースからコンパクトディスクを取り出す場合、図のようにケース中心部を押し、コンパクトディスクの両端を持ってください。また、ディスク面には直接手を触れないようにしてください。

●コンパクトディスクを拭く場合は、乾いた柔らかい布で図のように、中心から外に向かって拭いてください。

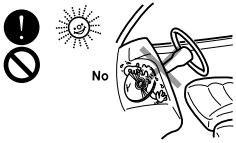


●新しいディスクには、ディスクの周囲に“ バリ ”が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

コンパクトディスク使用上の注意



●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどでキズをつけたりしないでください。



●コンパクトディスクは熱に弱いので、直射日光のあたる場所やヒーターなどの近くに置かないでください。

●コンパクトディスクは、きれいなものをご使用ください。もし、汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使用しないでください。

●大きいキズ、変形、ヒビなどがあるコンパクトディスクは使用しないでください。誤動作や故障の原因となる場合があります。

⚠注意　市販のCD保護シートや、スタビライザーなどを装着したディスクは使用しないでください。メカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクを傷つける場合があります。

ご使用になる前に

■ご確認事項

1. 本機は“ ”表示のあるコンパクトディスク12cm以外のご使用はできません。CD-R、CD-RWなどに書込まれた音楽データについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますのでご注意ください。

■取扱上のご注意

1. 冷えた場所から急激に温度が高くなる場所へ移動し、すぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が結露して正常な動作をおこなわないことがあります。ディスクが結露しているときは、柔らかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと自然に結露がとれ正常に動作します。
2. 本機を傾けた状態で使用すると正常に動作しないばかりでなくメカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクに傷を付ける場合があります。
3. CD挿入口からのディスクの出し入れは無理におこなわないでください、本機の故障やディスクに傷を付ける恐れがあります。
4. ディスク走行中あるいはディスクをイジェクトしている状態で電源スイッチを切ったり、ACプラグを抜いたり、DC電源の電圧が異常に低下したりしますと、ディスクが取り出せなくなることがあります。いったん電源スイッチを切り、ACプラグをコンセントに差すか、乾電池を交換して、電源スイッチを入れてディスクを取り出してください。

点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症　　状	点　検　項　目	対　　策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	FM/AMラジオチューナーユニットAU-100の電源が「ON」になっていませんか。（AU-100組込時）	AU-100の電源を「OFF」にしてください。 P6の「自動電源制御機能について」をご覧ください。
	ID設定スイッチが正しく設定されていますか。	手動操作時は「手動」、制御動作時は「制御」に設定してください。P7の「設定の変更のしかた」をご覧ください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない	CD音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
CDが入らない	本機の中にCDが入っていませんか。	停止/取出しボタンを押して、CDを取り出してください。
CDがすぐ出てしまう	CDを裏表逆に入れていませんか。	CDのレーベル面を上にして入れてください。
CDが取り出せない	極端な電源変動による誤動作、または機構の誤動作。	取り出せないときは販売店などへご相談ください。 ドライバーなどで無理に取り出さないでください。
音飛びする、ノイズなどが入る	CDが汚れている。	CDを柔らかい布で拭いてください。
	CDに傷やそりがある。	傷やそりの無いCDに交換してください。
音飛びする CDを認識しない	CD-R、CD-RWを使用していませんか。	データ書込みの状態、及び使用メディアの条件などにより、正常に再生できない場合があります。 正常に再生できるものと交換してください。

定格

電源電圧	DC12V　組込機器本体より受電
消費電流	500mA以下（再生時）
適合CD	12cm
最大出力	−10dBV ±2dB
周波数特性	20Hz〜20kHz（偏差±1dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下
S／N比	80dB以上
ダイナミックレンジ	85dB以上
高調波ひずみ率	0.03%以下
スピード可変範囲	±15%
付帯機能	シングルリピート、オールリピート、A−Bリピート、プログラム再生 スピード調節器、音量調節器、外部制御、自動バックライトオフ機能
表示	動作表示（液晶表示）バックライト付
使用温度範囲	0℃〜＋40℃
外装	パネル（ABS樹脂）黒色半艶塗装
寸法	幅169mm×高さ50mm×奥行208mm
質量	約 1kg

外観寸法図 （単位:mm）